

わらび WARABI

市議会

だより

No. **220**
2022・12

編集

蕨市議会広報広聴委員会
TEL／048-433-7733
FAX／048-432-7991
Eメールアドレス
gikai@city.warabi.saitama.jp



目次

9月定例会の概要	P 2
9月定例会の賛否結果一覧・ 東中学生会の皆さんとの意見交換会 ...	P 3
市政を問う！一般質問	P 4
議会報告会を配信中・編集後記	P12

ご意見をお寄せください



今回の表紙写真は、11月8日に文化ホール「くるる」で開催された第7回「議会報告会」の様子です。3年ぶりに会場を設けて議会報告会を開催することができました（概要は12ページをご覧ください）。市議会では、市民の皆様がより身近に感じていただけるように、引き続き開かれた議会を目指して活動していきます。

令和3年度決算 一般会計など全9会計の 決算を認定

9月
定例会

各会計の決算状況

令和4年9月定例会では、令和3年度の一般会計、特別会計、企業会計、全9会計について審議し、認定しました。各会計の決算状況を紹介します。

		歳 入	歳 出
一 般 会 計		327億5,631万9,956円	298億8,490万 115円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	71億3,159万4,406円	70億8,371万8,656円
	錦 町 土 地 区 画 整 理 事 業	13億 585万8,016円	12億4,296万7,208円
	介 護 保 険	55億9,915万3,707円	53億6,285万6,637円
	後 期 高 齢 者 医 療	8億7,424万5,464円	8億6,691万3,060円
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	2,361万3,696円	2,042万2,156円

			収 入	支 出
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	収益的収支	29億2,791万2,493円	30億3,127万7,200円
	水 道 事 業 会 計	収益的収支	14億2,849万 500円	13億1,580万1,306円
	公共下水道事業会計	収益的収支	16億6,022万4,185円	15億5,117万 103円

令和4年9月定例会は、9月1日から28日までの会期で開催され、初日に市長より市政についての報告がなされました。
一般質問では、14人の議員が福祉、教育、環境問題、防災、新型コロナウイルスへの対応などの市政の様々な重要課題を取り上げ、執行部の見解を問いました。（4～11ページ参照）
最終日には、市長提出議案・決算認定をすべて原案のとおり可決・認定したほか、議員提出議案1件を原案のとおり可決して閉会となりました。

9月定例会の 主な議案の内容

蕨市職員の定年等に関する 条例等の一部改正

職員の定年に関して、60歳から65歳に段階的に引き上げます。また、60歳に達した管理監督職の職員を管理監督職以外の職に降任する制度を導入するほか、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和などを行います。

令和4年度 一般会計補正予算(第3号)

今定例会では、一般会計予算を約5億5624万円増額する補正予算案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆ワクチン接種事業

オミクロン株対応のワクチン接種を実施するための予算を計上しています。保健センター、市民体育館、東公民館、日本アンテナ株式会社蕨工場の4か所での集団接種と、一部の医療機関において、10月中旬よりワクチン接種を実施しています。

◆消防団員の増員

新たに8名の消防団員の入団が見込まれることから、その報酬や被服等の購入費用を増額します。

議員提出議案第6号 「犯罪被害者支援の充実 を求める意見書」

9月定例会において、本意見書を全会一致で可決し、国や関係機関等に送付しました。

- 内容** 速やかに犯罪被害者支援の充実を図るため、次の事項を実施するよう強く要望する。
- 1 犯罪被害者が民事訴訟等を通じて迅速かつ確実に損害の賠償を受けられるよう、損害回復の実効性を確保するための必要な措置を講じること。
 - 2 犯罪被害者に対する経済的支援を充実させ、手続的な負担を軽減する施策を講じること。
 - 3 犯罪被害者の誰もが事件発生直後から弁護士による法的支援を受けられるよう、被害者支援弁護士制度を創設すること。
 - 4 性犯罪・性暴力被害者のためのプライバシーに配慮した病院拠点型ワンストップ支援センターを都道府県に最低1か所は設立し、人的・財政的支援を行うこと。また、関連法の整備や性犯罪被害者支援施策の強化を早急に行うこと。
 - 5 地域の状況に応じた犯罪被害者支援施策を実施するため、全ての地方公共団体において、犯罪被害者支援条例が制定できるよう支援すること。

令和4年9月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	令政 クラブ	日本 共産党	公明党	日本維新 の会・無 所属連合	創誠会	立憲 民主党	無所属 (候補議員)	結果
議案第36号	蕨市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	蕨市手数料条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	令和4年度蕨市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	令和4年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	財産の取得について（新庁舎備品（集密書架））	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
認定第1号	令和3年度蕨市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	退席	○	認 定
認定第2号	令和3年度蕨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第3号	令和3年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第4号	令和3年度蕨市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第5号	令和3年度蕨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第6号	令和3年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第7号	令和3年度蕨市立病院事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第8号	令和3年度蕨市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第9号	令和3年度蕨市公共下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	認 定
議員提出議案 第6号	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※認定第1号については質疑が行われました。質疑の詳細内容は蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。

東中学校生徒会の 皆さんとの意見交換会

10月19日に、保谷武議長、古川歩広報広聴委員会委員長、宮下奈美同副委員長の3名の議員が東中学校を訪問し、オンラインで参加した3名を含む5名の生徒会の皆さんと意見交換会を行いました。

東中学校生徒会の皆さんからは、昨年実施した「議会報告会」の「中学生の質問にこたえます！」のコーナーにおいて、「小・中学生でもわかる議会についての説明を載せたサイトなどを立ち上げる予定はありますか」との質問をいただきました。そのことをきっかけに、蕨市議会ホームページに「キッズ向けページ」を作成することとなりました。今回の意見交換会は、生徒会の皆さんに質問をいただいたお礼を伝えることと、更に見やすいホームページにするためのアドバイスを受けるために、市議会からお願いをして行われたものです。

生徒会の皆さんからは、「ページが長く感じるので複数にわけると見やすくなる



ると思います」「議会のことを知って選挙について考えるきっかけになりました」「私たちの生活と市議会がどのように関わっているのか知りたいです」などの率直な感想やご意見をいただき、大変有意義な意見交換会となりました。今回いただいた貴重なご意見等を踏まえ、更に見やすいホームページの作成を目指して取り組んでいきます。生徒会の皆さん、本当にありがとうございました。

市政を問う！

一般質問

9月定例会では20・21・22日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
長 武
保谷



一般質問

小林利規 議員（創誠会）

子どもが持っている才能を伸ばすギフテッド教育について

議員 子どもたちと触れ合っていると、多くの個性、多くのエネルギー、多くの可能性をひしひしと感じる。子どもたちが何らかの個性を生かせる環境をつくる場として、ギフテッド教育が注目されているが、ギフテッド教育とはどのようなものか。

教育長 文部科学省によると、米国等における従来からの知能指数の高さなどを基準に、全般的な分野の才能を伸ばす教育に加え、特定分野において才能を伸ばす教育や、特異な才能と学習困難を併せ持つ児童・生徒に対する教育を含めたものと考えられている。

議員 子どもが持っている才能を伸ばすためにギフテッド教育が必要だと考えるが、教育委員会の見解はどうか。

教育長 個別最適な学びを通じて個々の資質、能力を育成し、協働的な学びという視点も重視して児童・生徒同士がお互いの違いを認め合い、学び合いながら、相乗効果を生

み出す教育が重要だと認識している。ギフテッド教育は、文部科学省の有識者会議で検討していると聞いているので、国や県の動向を注視したい。

議員 自己肯定感というのは、自分で得ていくよりも、周りからの影響でより育まれていくものだと思う。子どもがより頑張れるような環境づくり、支援の充実を学校現場にお願いしたい。

子ども食堂について

議員 運営団体の状況をどのように把握しているのか。

健康福祉部長 当該団体と連絡を取り合い、状況や要望等を把握している。最近では、食材提供者や利用者が増加し、連絡調整等の負担が増大したことから、支援の範囲を広げることが難しいと伺っている。

議員 市はこれまでにどのような支援を行ってきたのか。また、今後の展開等はどうか。

健康福祉部長 市としては、



こばやし りき



「ぽっかぽか」が実施しているお弁当・パントリー配布準備の様子

広報や活動場所の提供等の支援を実施してきたほか、昨年11月には市職員から食材を募集し、「厥市職員フードドライブ活動」を実施した。今後の展望については、これまでの支援を継続するとともに、利用者の増加や利用の機会の増加につながるような取り組みを検討していきたい。

議員 他市では、市が子ども食堂の設置を支援する事例がある。運営団体の負担を軽減して事業を充実するために、行政施策として関わる必要性を強く感じる。ぜひ行政の更なる支援を検討してほしい。

南町の公園改修について 問う

議員 南町の「大荒田交通公園」「あけぼの公園」「三和公園」の改修事業について、改修する年度や内容はどうか。

都市整備部長 老朽化した公園施設が多い「大荒田交通公園」は、来年度の改修に向けて設計を実施しているところである。「三和公園」や「あけぼの公園」については、現時点で改修の時期等は未定であるが、効率的・効果的な公園施設の維持管理を図るため、施設の老朽度や利用者の利便性、快適性、コストなどを見極めながら、修繕や改修工事

を順次実施していきたい。

議員 普段から公園の清掃等をしている町会や自主管理団体等と綿密な打ち合わせをして進めていただきたい。

都市整備部長 実際に公園改修の設計をする段階で、対応はしていきたい。

南町図書館の跡地 利用について

議員 駅西口地区市街地再開

発事業により、南町一丁目にある図書館が移転する計画となっている。その図書館跡地に「図書館分館」と市内初の「公立美術館」の設置を求める声がある。図書館跡地に文化施設を建設する考えはないか。

総務部長 公共用地が少ない本市において、市有地の活用が将来に関わる重要な課題であると認識している。市民の方からの文化施設建設等のご要望については真摯に受け止めつつ、一

方で、市の公共施設等総合



みわ かずよし

管理計画において、公共施設の総量抑制を基本目標としていることから、今後も幅広い市民のニーズを踏まえながら、財政状況や公共施設全体のマネジメントなどを総合的に勘案し、引き続き適切な対応を検討したい。

議員 本市ゆかりの画家や芸術家の方も多くいる。費用がかかることは承知しているが、前向きに検討してほしい。

富士見公園野球場の 改修について

議員 富士見公園野球場を防災施設とスポーツ施設として、早期に改修してほしい。

都市整備部長 錦町地区では、区画整理事業に合わせて雨水

下水道の整備を進めており、将来的に野球場の地下に雨水調整池を建設する計画があることから、大規模な改修は見合わせているが、この間、野球場利用者の要望に対応して、修繕や改修などを実施してきたところである。

1年後、3分の1の人にコロナ後遺症が判明 後遺症対応外来病院の周知徹底を図れ！

議員 県と県医師会が今年3月、新型コロナの後遺症の症例集を公開したことで、診療を始める病院が急増していると聞か

が、当市も後遺症に対応できる医療機関のリストを作成し、市の広報やホームページなどで周知してはどうか。

健康福祉部長 市ホームページにおいて、後遺症が疑われる場合の受診についてのページを作成し、埼玉県のホームページにリンクすることで、後遺症外来の受診先情報を掲載している。症状に苦しんでいる方への不安解消の助けになるよう、地域の受診先一覧を市ホームページ上にも追加する等、掲載情報の見直しを図っていく。

蕨市版「おくやみハンドブック」の作成について

議員 多死社会到来の中、家



「おくやみハンドブック」の作成を
（鶴ヶ島市ホームページより）

族の死亡に伴う行政手続きを一冊にまとめた「おくやみハンドブック」を作成し、市の窓口で配布してはどうか。

市民生活部長 現在、市民課において住民基本台帳関連の手続きに関する案内書類をお渡ししており、必要に応じて

関連部署等を案内し、それぞれの窓口にて手続きを取っていただいている。近隣市では、窓口で必要となる手続きをまとめたハンドブックを作成していることは認識している。

来庁されるご遺族に対し、円滑に手続きを行っていただくために、どのような手続きを案内するか等、ハンドブック



いちのせき かずい

という形にこだわることなく、情報提供の在り方を関係各課において協議していきたいと考えている。

仮設庁舎跡地の活用 について

議員 来秋の新庁舎落成に伴い、仮設庁舎（旧第2駐車場）が解体されるが跡地利用については、私案を含めて検討する協議会を設置してはどうか。

総務部長 跡地利用の考えについて、仮設庁舎の敷地は市の中心部のまとまった公共用地として貴重な資産であり、当該土地の活用は本市の将来に関わる重要な課題であると認識している。河鍋暁斎記念美術館の誘致や高齢者福祉センター等の複合施設、防災公園等の設置など、議員から提案のそれぞれの用途等を含め、まずは庁内で広く長期的な視点での用途について検討していきたいと考えている。

ほかに 「元NPO法人ベス

マイナンバーカード
取得者にポイント付与

議員 マイナナンバーカードの普及を後押しするマイナポイント第2弾を巡り、カードの受け付けもしている。

議員 セキュリティ管理に使用するなど、市庁舎の利用等
で使用することはできないか。
総務部長 市職員への利便性
も今後、セキュリティエリア
での活用など、他自治体の動
向等も注視しながら、調査・
研究していきたい。

戦りふすパン

織りなすクーポン
宅配業者による配布

議員 7月の臨時会にて議決された「織りなすクーポン」の発送方法について、どのように配布をするのか。

市民生活部長 発送時において既に金券であることから、市民の皆様へ安全確実にお届けする方法として、配送事業者による対面での配達を検討している。

下蕨ファミリー菜園について
信託者への感謝の思いを形に

議員
信託地としてお世話に



なつた地権者と相続人に対し
農業体験を通じて地域コミュ
ニティが生まれ、学校農園や
公民館活動として児童・生徒
が野菜栽培を体験できたこと
に心から感謝する。ぜひとも
地権者に対し、感謝の形を残
せないか。

市民生活部長 約30年に渡りファミリー菜園並びにちびっこ広場として市民の憩いの場を提供いただいた地権者に対し、改めて感謝するとともにご遺族の意向を踏まえた上で今年度の自治功労者表彰式において感謝状の贈呈を検討している。

議員 農業体験について、食育や健康基本法等の観点からどのような考えであるか。

市長 農業体験は自然を大切にする気持ち、あるいは食に対する心を育てることにもつながるため、大きな意義があると感じている。学校や信託地等を活用した農業体験については、今後も取り組んでいきたい。

一般質問

鈴木 智 議員（日本共産党）

コロナ禍から
いのちを守る医療体制を

議員 死亡者数が過去最大となるなど、第7波感染拡大の先行きは楽観できず、一方で国の対応の問題もある。ところで、本市の感染者、検査・診療体制の状況、救急出動件数、搬送困難事例の件数はどうか。

健康福祉部長 今年3月末の累計感染者数が5133人、8月末は1万2385人。新型コロナウイルス・検査できる市内18医療機関を市ホームページで紹介している。受診体制ひとつ迫期に抗原検査キット無料配布事業等を行った。

消防長 救急出動は4月35

0件、8月417件、搬送困難件数は4月34件、8月51件
コロナ感染が疑われるケース
で搬送困難が多い。

議員 搬送先が定まらず症状が深刻化した事例もある。国等に医療体制全体の強化等を要望してほしい。また、検査キットでの検査確定診断は薬の処方がなく症状に苦しむケースもある。十分な説明や発



今後も重要な役割が期待される市立病院

熱外来の拡充が必要。

市立病院の対応と方針

議員 新型コロナ対応は。
病院事務局長 昨年度の総検
査数1万457件、入院55人
今年度9月9日現在、検査6
605件、入院38人。発熱外
来では、受診を待つ間に猛暑

等で体調を崩す方や、200人以上の患者が殺到する日も

あつたため、予約制に変更。
議員 急性期医療、地域包括ケア病棟等、公立病院としての役割に期待する。国の公立病院経営強化ガイドラインと

の関係、矛盾や課題はどうか
病院事務局長 これまでと比べ「再編・ネットワーク化」がなくなり「機能分化・連携強化」が柱の一つとなった。新型コロナウイルス対応で役割が見直された表れだと思うが、一方で診療報酬改定では急性期への締め付けが強く、違和感がある。耐震整備等が課題。

議員 市立病院の役割や課題等について市長の見解は。

市長 救急医療、出産施設、小児夜間救急等、重要な役割を担い、コロナ対応でも中心的役割を担った。子育てしやすいまちづくりでも、地域包括ケアシステムの構築・在宅医療との連携でも重要。急性期を担う中核病院を大前提に不足する回復期病床でも役割を果たしていく。耐震化・老朽化対策については、安定経営が進む等、実施の条件ができてきた。今年度中に方向性を出し対応したい。まちづくりの強みとして素晴らしい病院づくりを進める。

病院事務局長 これまでと比べ「再編・ネットワーク化」がなくなり「機能分化・連携強化」が柱の一つとなった。新型コロナウイルス対応で役割が見直された表れだと思うが、一方で診療報酬改定では急性期への締め付けが強く、違和感がある。耐震整備等が課題。

議員 市立病院の役割や課題等について市長の見解は。

市長 救急医療、出産施設、小児夜間救急等、重要な役割を担い、コロナ対応でも中心的役割を担った。子育てしやすいまちづくりでも、地域包括ケアシステムの構築・在宅医療との連携でも重要。急性期を担う中核病院を大前提に不足する回復期病床でも役割を果たしていく。耐震化・老朽化対策については、安定経営が進む等、実施の条件ができてきた。今年度中に方向性を出し対応したい。まちづくりの強みとして素晴らしい病院づくりを進める。

議員 市立病院の役割や課題等について市長の見解は。

市長 救急医療、出産施設、小児夜間救急等、重要な役割を担い、コロナ対応でも中心的役割を担った。子育てしやすいまちづくりでも、地域包括ケアシステムの構築・在宅医療との連携でも重要。急性期を担う中核病院を大前提に不足する回復期病床でも役割を果たしていく。耐震化・老朽化対策については、安定経営が進む等、実施の条件ができてきた。今年度中に方向性を出し対応したい。まちづくりの強みとして素晴らしい病院づくりを進める。

市外に向けたPR活動を充実 して訪れてもらえる蕨市に

蕨ブランド認定制度 について

よいものになるようにブラッシュアップをしてほしい。

観光事業について

議員 本事業は今回で3回目となるが、コロナ禍の影響もあり、市内外にPRができていないのではないかと危惧している。以前は、大型店でのお披露目や県の展示会に参加していたが、今回はどうか。

市民生活部長

感染症の影響により、令和2年に予定していたお披露目等は中止となったが、昨年度は新たな試みとして、東小学校3年生の総合学習で蕨ブランド認定品のPRをテーマに取り上げ、校内で展示会を開催し、児童がポスターやCM動画など、蕨ブランド認定品を広めるアイデアを発表会という形で各事業者に披露した。また、その他の出展についても、今後は機会を捉えてPRに努めたい。

議員 新庁舎への常設展示スペースの設置や、最近ではウェブ上で展示会をするケースもあるので、蕨ブランドがより



ふるかわ あゆみ

議員 商店街の店主が高齢化し、主体的に動くことが難しくなっている。観光協会も人数が少なく、市が主体的に動く体制にすべきではないか。

市民生活部長

市では、観光協会の負担が軽減されるよう、人的支援等を行っている。高齢化は認識しているが、一人でも多くの方に「ふるさと蕨」づくりに参画していただき、観光振興における推進体制の強化につなげていきたい。

「さよなら私のクラマー」と連携したPR活動を

議員

「さよなら私のクラマー」と連携し、各種イベントとタイアップした取り組みや、女子プロサッカーリーグの協力の下、スポーツ教室を実施するなどのPR活動の状況は、

市民生活部長

訪れてみたい



【お楽しみダンス】日本一小さな市「蕨（むらの）」市のWEリーグ応援ダンスのPVをYouTubeで公開中

気候危機打開 二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けて

議員

環境基本計画（現計画）期間が今年度で終了する。来年度以降の目標や具体的な対策はどのようなか。

市民生活部長

蕨市の望ましい環境像として「みんなが楽しく、人と自然が共生し、地球環境にやさしい コンパクト・エコ・コミュニティ『わらび』」を目指している。地球温暖化対策については、基本目標として「みんなで取り組む エコライフのまち」と位置づけ、「低炭素型ライフスタイルの実践」、「自動車の利用削減」、「循環型ライフスタイルの実践」を定め、持続可能な循環型社会・低炭素社会

会づくりに目指してきた。具体的には太陽光発電システム等に対する地球温暖化対策設備等設置費補助金交付事業や、蕨市田衛生センター組合のこみの焼却時に発電する電力の有効活用、防犯灯や道路照明灯のLED化、ごみの減量化と分別の徹底などの取り組みを積極的に推進してきた。

新たな計画については、令和5年度から10年間の計画期間となる「第3次蕨市環境基本計画」の策定を現在進め大規模な改定を見込んでいる。具体的な対策や目標は、市内連絡会、学識経験者や地域住民の代表などで組織される「蕨市環境審議会」での審議、市民アンケートや事業者アンケートの結果、パブリック・コメントの意見など、様々な検討をした上で改定していく。市内連絡会は今年4月に1回開催したほか、アンケートに関しては9〜10月にかけて、市民200



環境にやさしい取り組みが必要です



みやした なみ

0人、事業者100社を対象に実施している。

議員 若い世代など、より多様な市民の声を取り入れてほしいが、審議会のメンバー構成はどのようなか。

市民生活部長

新たに市民参加として公募を行う。市民の幅広い意見が聞けるような人選をしていきたい。

議員

市役所新庁舎における環境への取り組みはどうか。

総務部長

屋上の太陽光パネル、吹き抜けの空間のエコポイド、LED照明などがある。

議員

新庁舎でのグリーンカーテンの整備などを要望する。

公立中学校運動部活動の地域移行について

議員

すべての子どもたちのスポーツ活動要求に応える社会教育施設・指導者の配置等の環境整備を教育行政が責任を持って行う等、文化・スポーツ要求を権利として保障する視点を持って取り組んでほしいと要望する。

本田 てい子 議員（公明党）

災害時に備えて、高齢者・障害者の個別避難計画の策定を

議員 自然災害でより被害を受けやすいのは障害者や高齢者などの災害弱者である。支援が必要な方に個別避難計画の作成を



災害弱者への支援の充実を

着実に進めていくことはとても大事な取り組みである。個別避難計画の作成について、登録申請した要支援者数と不同意者数はどうか。

市民生活部長 登録者は144名で、申請のない不同意者は1268名となっている。

議員 不同意者が申請していない点について、どのように把握しているのか。

市民生活部長 同居を含めた家族の支援があるため申請しないという方などがある一方で、制度を理解されていない方も一定数いると思う。引き続き制度を周知していきたい。

議員 個別避難計画の実行性の検証はされているのか。

市民生活部長 総合防災演習



ほんだ ていこ

の配備を働きかけるとともに公共施設以外の施設に対しても同様の案内をしていきたい。
議員 いざというときに躊躇なくAEDが使われ、命が助かる行動につながるよう対応してほしい。

期日前投票について

議員 7月の参議院議員選挙において、投票所入場券が公示翌日までに届かなかった人が、投票所で期日前投票をできなかった事例があったが、市はどのように考えているか。

選挙管理委員会委員長 投票所入場券がなくとも投票することができ、身分証明書をお持ちいただけたとより円滑な手続が可能となる。ご指摘の事例は、受付において身分証明書の提示がなければ投票できないと認識したことから生じたものである。こうした事例が生じないよう投票事務に当たり、より分かりやすく、丁寧な対応に努めていく。

AEDの活用について

議員 AEDの使用に関する調査から、女性の服を脱がせることへの抵抗感によりAEDの使用率に男女差が生じているとの分析結果が示された。傷病者のプライバシーを守るため、AEDのボックス内に三角巾を配備してはどうか。

健康福祉部長 AEDボックスを配置している市内公共施設に対し、タオルや三角巾等

一般質問

大石 圭子 議員（令政クラブ）

市民の愛だけでは安定経営につながりません！ 52年経過した蕨市立病院の将来について

議員 市立病院の老朽化の対応・考え方はどのようなか。

病院事務局長 耐震整備に向けた検討を進めている。現時点では、改修は多額の費用がかかるため、緊急性の高いものについて対応を図っている。

議員 市立病院の充実、毎年の市民意識調査で、非常に重要と考えられているものの、満足度はとても低くなっている。この結果をどう考えるか。

病院事務局長 薬の待ち時間が長いなどのご意見が寄せられており、改善できることは

改善しながら、親身で良質な医療の提供に努めたい。

議員 コロナ禍では、公立病院の役割を十分に果たしているが、経営においてはどのような影響を受けているか。

病院事務局長 令和3年度の決算は約1億6300万円の純損失。2年度は約3億4500万円の純損失である。

議員 収益がトップであった産婦人科の昨年度の収益は、前年度より1億4000万円の減収である。近隣に産婦人科ができたことやコロナ禍での産み控えなどが考えられるが、将来的に何で収益を上げるのか。また、安定経営につながる医師の確保はどうか。

病院事務局長 収益を確保する手段の1つとして、入院患者を増やしていくことが重要である。また、医師等の確保については、大学病院との連携や当院で独自に募集を行うて採用する形となっている。

議員 策定中の「経営強化プラン」に病院の将来が託されるというが…



おおishi けいこ

ている。プラン中の連携強化とはどのようなことか。
病院事務局長 患者の転院や受け入れのコントロールをするのが地域医療連携室であり、他院との連携がうまく機能すれば、入院患者が増えることにつながり、非常に重要な役割を担っている。

子育て支援におけるオンラインの活用について

議員 昨年度実施された「京都大学COO実証実験」LINEで子育てA-相談」の検証はどのようなか。

総務部長 更なるA-チャットボットの充実が必要となるなど、課題が多くある。

議員 知識の蓄積で学習していくA-相談は、課題は多いと思う。オンラインの活用はコロナ禍で大切なツールとなった。市内の子育て支援センターでも始まっているので、子育て支援の足並みをそろえる意味で保健センターでも導入してほしい。



サブタイトルは「地域住民に愛される病院を目指して」

今井 陽子 議員（令政クラブ）

循環型社会を目指して 古本募金きしゃぼんへの参加を

議員 S D G S目標12「つくる責任つかう責任」、持続可能な消費と生産のパターンを確保することに特化して、循環型社会の実現を目指した本市の考え方はどのようなものか。

市民生活部長 S D G Sは、「コンパクトシティ」将来ビジョンの施策全般に関連しており、改定「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において各施策との関連性を示し、各種取り組みを推進している。目標12についても市民事業者、行政が一体となって

循環型で環境に優しいまちづくりを進めていく。

議員 本市で実施している関連事業についてはどのようなものか。

市民生活部長 マイバック運動や生ごみの堆肥化事業等を通じてごみの減量化に取り組む、また家具の再生販売等を行い、再資源化の推進をしている。さらに3 R活動の促進に向け、壊れたおもちゃを修理する公民館事業や、ごみ焼却炉の熱を利用して発電をする等の取り組みも行っている。

議員 「古本募金きしゃぼん」の協働パートナーに応募する考えはないか。

総務部長 「古本募金きしゃぼん」については、あらかじめ募金する団体を指定し、家庭等で不要になった古本等を5冊以上まとめて送付すると、換金相当額に100円を上乗せした額が団体に募金されるというシステムである。制度の導入事例



いまい ようこ

や費用対効果を含め、今後の研究課題としていく。

議員 デメリットも少ないので、導入に向けてぜひ積極的に検討してほしい。

交通事故0を目指した交通安全への取り組みを

議員 本市の交通安全に対する取り組みはどのようなものがあるか。

市民生活部長 第11次蕨市交通安全計画において、高齢者の交通安全の確保、子どもの交通安全の確保、自転車の安全利用の推進、交差点における交通事故の防止の4点を重点に掲げ、様々な交通安全対策に取り組んでいる。

議員 過去に開催した交通安全教室の内容はどのようなものか。

市民生活部長 横断歩道での歩行指導や自転車の安全な乗り方教室のほか、目の前で交通事故を再現し、交通ルールの必要性を学ぶスクエアード・ストリート交通安全教室を開催した。

武下 涼 議員（日本共産党）

多様な人材活動とジェンダー 視点に立った政策事業

議員 防災担当部署への女性職員の配置の有無によって、避難所運営マニュアル等の記載内容の充実度に大きな差が出るなど、ジェンダーの視点から自治体の防災体制と防災政策の質の関係について明らかにした研究がある。本市の状況はどのようなものか。

市民生活部長 現在は男性職員のみだが、そういう中でも災害時の女性が利用する大型の災害トイレの導入、災害時の炊き出しの改善策では、レトルトのパックに置き換える等を考えたのは男性職員である。

議員 統計を踏まえた取り組みについて検討していく。

総務部長 ジェンダー平等の視点を踏まえた取り組みについて検討していく。



みんなで行くことで犯罪防止になる

る。男性職員しかいない状況であれば、その状態の中で最大限の配慮をしていきたい。

議員 改善に向けて工夫していることは理解した。本市の人財育成基本方針及び特定事業計画を、ジェンダーの視点に立って、より踏み込んだ方針・計画に設定してほしい。

市民生活部長 劣化が激しいもの、倒壊の危険性が高いものが撤去の対象となる。住居表示案内板の役割などを改めて考え直す時期が来ていると認識している。

議員 統計を踏まえた取り組みについて検討していく。

総務部長 技術職や消防職において女性の受験者の割合が低い傾向にある。女性職員数自体が少ないこと等、人事配置において一定の制約があるが、女性職員の採用促進の取り組みを引き続き行い、女性職員の割合はできるだけ高めていきたいと考

えている。

住居表示案内板の活用について

議員 住居表示案内板について、他の自治体で避難所案内を兼ねてリニューアルするなど活用している。北町1丁目の案内板が撤去されたが、どのように検討されたのか。

市民生活部長 劣化が激しいもの、倒壊の危険性が高いものが撤去の対象となる。住居表示案内板の役割などを改めて考え直す時期が来ていると認識している。

公園空間をだれもが享受できる取り組みの推進

議員 市民生活に潤いや安らぎを与える役割のある公園を広く市民の方へ伝えていただきたいという思いから、「公園マップ」の作成を提案する。

都市整備部長 現在ホームページにおいて、地区ごとに公園の基本情報を掲載しており、内容の充実を検討する。



たけした りょう

良好な住環境を守りたい 南町2丁目のマンション問題



やまわき のりこ

議員 蕨市都市計画マスタープランの第4章「地域別方針」の南町の（3）「地域づくりの取組方針」の内容はどのようなか。

都市整備部長 取組方針を「地域の特性を活かした良好な住環境の誘導・維持・保全」とし、敷地の細分化や周辺と調和しない高さの建築物の抑制など、地域の特性に応じた建築物に関するルールを定められる地区計画制度等の導入を検討している。

議員 南町の5階建てマンション建設計画に対して、蕨市まちづくり指導要綱などの「事業者の責務」が実行されるよう、市として指導すべきと考えるがどうか。

都市整備部長 当該計画は、5月16日にまちづくり指導要綱に基づく事前協議を受け付け、要綱や中高層条例に基づく手続き、並びに各基準の遵守と近隣関係者への事業概要説明などについて指導を重ねてきており、5月末からこれ

までに、2度の住民説明会が開催され、近隣関係者との協議が現在も継続している旨報告を受けている。建築主に対し、引き続き良好な関係を損なわないよう、十分な説明など丁寧な対応を求めている。

議員 建築主、工事施工者、近隣関係者の関係当事者が相互の立場を尊重しながら、互譲の精神をもって紛争の解決に努めていただきたい。

加齢性難聴の補聴器購入費補助金制度の創設を

議員 加齢性難聴者に対して、認知症の予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から、補聴器購入費補助金制度の創設が必要と考えるがどうか。

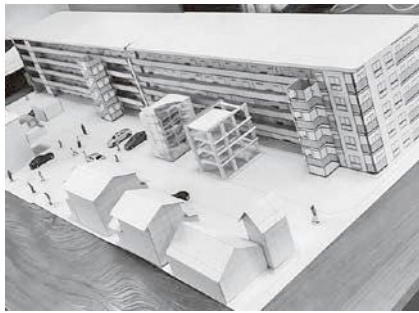
市長 高齢者の方の難聴が進むと音が聞こえづらくなり、生活の質の低下など健康にも影響を及ぼすであろうと認識している。必要性は十分承知しているが、限られた財源

の中で市独自の制度は、調査・検討が必要である。

子育て支援として学校給食費の無償化の実現を

議員 子育て世帯の経済的負担の軽減や学校教育の柱の一つである食育推進のため、学校給食費の無償化について検討する考えはないか。

市長 少子化が進む中、子育て支援としては意義のあることだと考えているが、いろいろな角度から慎重な対応が必要である。大事なテーマであるので、引き続きいろいろな観点から検討していきたい。



市民が作製したマンションの100分の1模型

一般質問

福祉のビジョンをかたちに！ 「地域福祉計画」の策定を



まえかわ やすえ

議員 地域包括ケアシステムは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されるものと認識している。本市における在宅ケアの現状はどのようなか。

健康福祉部長 3か所の地域包括支援センターを設置しているほか、重度な要介護状態となっても、切れ目なく支えていく定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所の設置や、在宅医療・療養に関する相談窓口として蕨戸田市在宅医療支援センターを開設するなど、住み慣れた地域で安心して在宅医療が受けられるよう、より充実した在宅医療に向けての取り組みを行っている。

議員 今回の質問をするきっかけとなったのが、末期がんと診断され、治療を行わないことを決めて在宅ケアとなった方からの相談であった。がん患者の在宅ケアの方など、

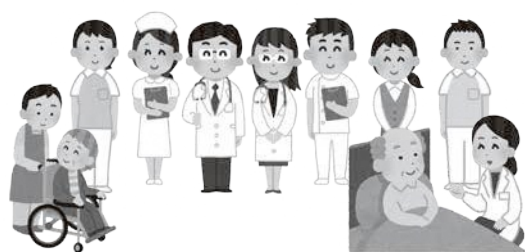
病状別での介護サービスのニーズを把握しているのか。

健康福祉部長 病状別にどのような介護サービスを利用されているかは把握していない。

議員 後期高齢者数がピークを迎える2025年問題を見据えて、在宅医療が叫ばれる要因の1つに病床の不足が挙げられている。終末期医療であれば、緩和ケア病床がある医療機関は少なく、入りたくても順番待ちとなる。在宅で次の場所を待つが、看取りまで自宅で待つということが現実問題として起きている。

また、在宅医療は自宅が病室という考え方があり、医療を自宅で行うことが増えていく方向性となるが、市立病院が訪問医療を行うことは可能か。

病院事務局長 訪問医療は医師や運転手、看護師など、人材の確保が大きな課題であり、そうした人件費の増大に見合う診療報酬を算定できるのか、今後の医療ニーズ等を踏まえながら検証する必要がある。



住み慣れた地域で暮らし続けるために
医療・介護連携の推進を

議員 本市が未策定である「地域福祉計画」は、福祉の最上位計画であり、現在、策定の準備を進めているとのことである。地域包括ケアシステムの推進、2025年問題などを踏まえながら、蕨らしい計画ができるのではないかと期待している。市民のニーズを的確に把握し、福祉や医療の現場から吸い上げた意見が反映され、社会環境の変化に対応した「地域福祉計画」を早期に策定してほしい。

中野 たかゆき 議員（日本維新の会・無所属連合）

誰も政治と無関係ではられない 蕨市の選挙管理委員会を検証する

開票立会人制度について

議員 開票立会人制度の内容、目的はどのようなものか。

選挙管理委員会委員長（以下委員長） 開票立会人は、投票箱の開錠から開票録の作成まで立会い、投票の効力の決定に際しての意見陳述を行うなど、開票事務の執行が公正に行われるよう監視する。

議員 開票作業全般において、表面化していないミスはあるのか。表面化しているものが全てという認識か。



市民体育館で行われている選挙開票作業の様子

委員長 ミスと指摘されるケースは表面化しているものが全てという認識である。

議員 全ての開票作業が終了した時間はどうか。

委員長 記憶では、全部の票の確認が終わった時間が午前4時の少し前であった。

議員 疲労困憊で行う開票作業は必然的にミスが多くなると思われる。開票作業における改善策はどのようなものか。

委員長 事務従事者が細心の注意を払って作業に当たり、読み取り機をはじめ、複数の目による確認を行うことでミスの防止に努める。また、迅速性を求められていることから、開票作業の在り方については鋭意研究していきたい。

投票率を上げる 取り組みについて

議員 不正投票防止のための本人確認の方法はどのようなものか。

委員長 投票所入場券の持参による本人確認のほか、投票所入場券を紛失などされた場合と協議を進めていきたい。



なかの たかゆき

合は、身分証明書の提示や本人からの氏名などの聞き取りによる本人確認を行っており、今後も同様の方法を継続する。

議員 投票率の低下は民主主義の危機であり、投票率向上に向けた不断の努力をお願いしたい。駅前に行政センターが設置されるのは数年先の話となる。期日前投票所を駅前に設置すべきと考えるが、市長の考えはどのようなものか。

市長 塚越地区にお住まいの方々から、現状の期日前投票所のアクセスの不便さを感じるとの「意見や改善を求める要望があることは承知している。期日前投票所をもつ1か所設置することについては、条件的に難しく、今に至っている。そのような中で、駅西口地区再開発事業において、行政センターと図書館を整備することとなり、そこに期日前投票所を設置できれば、今の状況と比べて利便性が向上することから、選挙管理委員会と協議を進めていきたい。

議員派遣報告

第84回全国都市問題会議

個性を活かして「選ばれる」まちづくり 〜何度も訪れたい場所になるために〜

10月13・14日の2日間にわたり、全国の市長、市議会議員等が参加し、都市の抱える問題や地方自治の在り方について議論する「第84回全国都市問題会議」が長崎市で開催され、11名の議員が参加しました。

今回の会議は「個性を活かして『選ばれる』まちづくり 〜何度も訪れたい場所になるために〜」をテーマに、講演やパネルディスカッション等により、「選ばれる」ことの価値や意義、多様な人同士の関わり方や在り方等について、他自治体等での様々な取り組みが紹介されました。

1日目は、高田旭人（株）ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEOより、「民間主導の地域創生の重要性」と題し、長崎スタジアムシティプロジェクトの事業方針として掲げる「見つける・磨く・伝える」をまちづくりに応用することでの地域活性化への貢献の可能性、「公平性」への配慮が必要な行政と「幸福の最大化」を追求する民間の役割の違い等の基調講演が行われました。

また、田上富久長崎市長より、「昭和の観光都市」から「21世紀の交流都市」への進化を目指し、「見つける・気づく・磨く・生み出す」という視点から、まちの価値を

見つめ直した長崎市の取り組みなどの報告がありました。

その他に、「観光以上、定住未満」「特定の地域に継続的に関心を持つ

ち関与するよそ者」と定義される関係人口を若い世代が生み出している鳥取市の事例や山形市の2大ビジョン（健康医療先進都市・文化創造都市）による施策展開等の報告がありました。

2日目は、大杉寛東京都立大学法学部教授をコーディネーターに、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われました。

市長や大学教授等の5人のパネリストが専門的視点から、雲仙市での雲仙人プロジェクトの試み、体験型観光の意義、「長崎さるく」の取り組み、観光客の求める交流の在り方、伊丹大使の取り組み等について、持論を展開して議論を深めました。



議会報告会を配信中です！

7回目となる今年度の議会報告会は、令和4年11月8日の19時から文化ホール「くるる」において、感染対策を行いながら、3年ぶりに会場での開催となりました。当日は、12人の方々にご参加いただき、その様子はリアルタイムで配信を行いました。当日、ご参加・ご視聴いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

なお、議会報告会の様子はインターネットで録画配信していますので、右下のQRコードや市議会ホームページから、ぜひご覧ください。



～第7回議会報告会の内容～

- 議長のあいさつ
- 議会のしくみの説明
- 総務・環境福祉経済・教育まちづくり各常任委員会の報告
- 質疑応答・意見交換



スマホやパソコンで
気軽に見いただく
ことが可能ですよ

現在もインターネットで録画配信中！



動画は蕨市議会ホームページ
からご覧いただけます

QRコードを読み取ると、すぐに
動画を視聴することができます。

12月定例会の日程（予定）

11月28日(月) 開 会	12日(月) 一般質問
30日(水) 議案質疑・委員会	13日(火) //
12月 1日(木) 委員会・分科会	14日(水) 一般質問・委員会
2日(金) 委員会・分科会	16日(金) 閉 会
5日(月) 委員会・分科会	

※本会議はインターネット中継を実施していますので、市議会ホームページからぜひご覧ください。

広報広聴委員会を開催しました

- 9月22日 「12月発行号の概要、議会報告会について」
- 10月17日 「議会報告会について」
- 11月15日 「12月発行号の最終確認、議会報告会について」

◆編集後記◆

議会報告会を3年ぶりに有観客にて開催することができました。開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指した取り組みとして開催しており、毎年広報広聴委員会を中心に、なつて企画し、議会メンバー全員で作成しています。昨年は、コロナ禍により動画配信による報告会、昨年も動画配信でしたが中学生からの質問に答える企画を行いました。今年度は新規の企画としてYouTubeによるリアルタイム配信を実現するというものでした。

議会は様々な考え方を持つ幅広い年齢の議員で構成されているため、前例のない新規企画には様々な課題を克服する必要があります。当委員会は協力し、全議員への丁寧な説明、情熱を持った強い意志で進めています。議会というところは堅苦しいイメージもありますが、市民の皆様からの声を聞きながら常に前を向き新しい議会を目指していますので、是非ご意見をお寄せください。

広報広聴委員会

委員長 古川 奈歩
副委員長 宮下 奈美
委員 中野 陽子
今井 孝子
榎本 和浩
根本 幸一
保谷 幸一
大石 幸一